

令和6年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況

上下水道部長 南 和彦

○ 令和6年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	水道管路を積極的に更新するとともに主要施設の設備更新を実施し、安定給水と耐震化の推進に取り組み、水道施設の強靱化を図ります。
年度末達成状況	配水管更新事業では、西部幹線更新事業など建設改良計画に基づく事業を着実に実施するとともに効果的な進捗に努めました。施設整備事業では、鳥越調整場の水質監視装置更新などの設備更新を実施しました。
自己評価	水道管路及び施設ともに概ね計画のとおり進捗しています。引き続き、計画的に事業を進捗させ、安定給水と耐震化の推進に努めます。

事業名	災害復旧事業・雨水対策事業
目標	令和6年能登半島地震により被災した下水道管の早期復旧に努めるとともに、近年の豪雨による浸水被害の軽減に向け、引き続き、作道、小島及び堀岡地内の雨水対策施設の早期整備に努めます。
年度末達成状況	被災した下水道管の災害査定が終了し、概ね計画した復旧工事の発注を終えています。雨水対策事業では、作道地内の雨水貯留施設について主要な施設が完成し、令和7年度中に供用を開始する予定であり、小島地内の雨水調整池整備については、地元協議を終え、今後、工事着手します。
自己評価	被災した下水道管については早期復旧に向け、事業を推進します。また、雨水対策施設整備についても事業の進捗を図り、浸水被害の軽減に努めます。

事業名	持続可能な事業運営
目標	「水道ビジョン」「下水道ビジョン」の見直しに着手し、災害に強い強靱な施設の構築と事業の効率化を進め、将来にわたり持続可能な事業運営基盤の確立に努めます。
年度末達成状況	「水道ビジョン」及び「下水道ビジョン」については、令和7年2月に上下水道事業経営委員会、令和7年3月に議会での審議を行い、今後は市民を対象としたパブリック・コメントを経て、6月議会に最終案を提出予定です。
自己評価	計画的に事業を進めることができおり、今後は両ビジョンに示す将来の基盤強化に向けた具体的な施策などを市民の皆様に対し、理解と関心を深めていただけるよう、丁寧でわかりやすい情報開示に努めます。